

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ほけつとびーすの森 のびのびクラブ				公表日	令和7年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	その日の利用者、利用者数に合わせ、マットや机を移動させたり、相談室を利用したりしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	配置基準に定められた人数よりも多くの職員を配置している。	長期休業時などに、こどもを待たせてしまったりしていることが多くなってしまふ。(移乗やトイレ介助などで)	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6		分かりやすく構造化された環境にするために職員の学びや環境の整備が必要である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	相談室を利用するなどして、必要に応じ、個別の部屋で過ごせるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	毎日の振り返りや定期的なミーティングなどで意見交換している。	明確な目標設定とその評価など、業務改善のためのPDCAサイクルの取り組みが十分でない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者向け評価の集計結果を職員間で共有し、話し合う機会を設けている。	改善できないままになっている課題もある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	毎日の振り返りや定期的なミーティングなどで意見交換している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	苦情解決第三者委員による評価を実施している。	第三者機関による評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	全職員を対象とした内部研修会を年に4、5回開催するとともに、外部の研修会に参加する機会も設けている。		
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	アセスメント、モニタリングを行い、プラン案会議を経て個別支援計画を作成している。		
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	モニタリングの場に担当保育士も同席するとともに、プラン案会議での支援に関わる職員の意見交換を経て個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	作成された個別支援計画は、支援に関わる全職員に回覧し共有している。		

	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	6	日々の行動観察を通して気づいたこどもの適応行動の状況はケース記録に記載するとともに職員間で共有し、計画作成や支援に役立てている。	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは行っていない。
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	個別および集団での活動については、チームで話し合い立案している。	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	一人ひとりの成長発達に合わせ、それぞれが楽しめるプログラムを工夫している。	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		長期休業時など、朝から利用する児童がいて難しいことがある。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎日の支援終了後の振り返りで共有できている。	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	22	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1		
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		
関係機関や保	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	児童発達支援管理責任者が必要に応じて関係機関と連絡を取り合っている。	
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		

護者との連携	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	7		放課後児童クラブ等の子どもたちと交流する機会を設けていない。
	32	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日々の送迎の際など、子どもの状況について保護者との情報共有を大切にしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		家族に対して家族支援プログラムや研修の機会を提供していない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	ご家庭の負担を考え、父母の会、保護者会等は立ち上げていないが、不定期で茶話会を開催し、交流する機会を設けている。	きょうだい同士で交流する機会がない。
	40	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情解決の体制を整備し、重要事項説明の際に周知している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月通信を発行し、行事予定や活動の様子などを発信している。	HP、SNSを活用した発信はしていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		子どもの状態などの情報が漏れているとの保護者からのご指摘があり、個人情報保護の徹底が不十分であった。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		意思表示の難しい重度の障害児との意思の疎通を図るスキルの向上が必要である。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		家族等への周知ができていない
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	アセスメントで確認するとともに、状況に変化があった場合は随時連絡をもらい確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	医師の指示書ではないが、保護者からの申告により適切な対応を取っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3		安全管理には十分注意しているが、組織的な安全管理体制が十分に機能していない。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		家族等への周知ができていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット事例は支援に当たる全職員に回覧し、再発防止に努めている。	再発が防ぎきれていない事例があり、改善策の検討が必要である。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を設置するとともに、全職員を対象とした内部の虐待防止研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束適正化委員会を設置し、適切に行われていることを確認している。	